

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉通信機器貸与等事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	福祉電話を一人暮らし高齢者等に貸与し、日常生活の不安の解消を図るとともに、緊急時に押しボタンにより異常事態を関係機関へ通報できる緊急通報装置を貸与する。 なお、緊急通報装置については、平成 27年度から 29年度までに「あんしん通報サービス事業」へ移行する。
-------	--

29年度概要	高齢者福祉電話の貸与 136件 緊急通報装置貸与事業 616件
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	一人暮らし高齢者等の孤独感の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることができる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
高齢者福祉通信機器貸与件数	件			752	752	136

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	高齢者福祉通信機器貸与率	%	目標値			8.3	1.4	1.4
			実績値			7.8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	10 8 6 4 2 0						(達成度) 94.0%
		目標を達成できなかった。福祉電話は新規利用申請者が少ないため、利用者数は減少傾向にある。また、緊急通報装置も新制度への切替時に廃止にする人や、死亡、施設入所により廃止にする人が新規利用申請者より多いため、減少傾向にある。 (目標達成度)		32点				
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	1 0						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	31,406	20,877	7,275	6,761
(事業費)	[円]	18,120	7,058	3,349	2,835
(職員人件費)	[円]	13,286	13,819	3,926	3,926

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

現在の通信手段の多様化や安価となっているため、事業の継続性について検討する余地がある。また、緊急通報装置については、個別訪問などを行い、あんしん通報サービス事業へ完全に移行するよう支援する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者福祉電話事業の事業の必要性について見直しを行う。緊急通報装置については、あんしん通報サービス事業への完全移行による事業完了を目指す。